

迫り来る巨大災害への備え

～首都直下地震や南海トラフ地震の減災復興戦略

日時 令和4(2022)年 **2月19日(土)** 13:00～17:00

場所 **オンライン開催 (YouTubeライブ配信)**

※朝日新聞東京本社新館スタジオ(東京都中央区築地5-3-2)より配信

参加方法 **無料、事前申込**



(写真提供:神戸市)

阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」、東日本大震災の被災地で地震・津波等に関する自然災害科学研究を推進する「東北大学災害科学国際研究所」、戦前戦後を通じて災報道を重視してきた「朝日新聞社」では、大規模災害に対する事前の備えや減災・復興に関する研究成果を広く発信することにより、人々の防災意識を高め、安全・安心な減災社会の実現をめざすため、共同でシンポジウムを開催してきました。

今回、これまでの取り組みを総括し、我が国の社会に甚大なダメージをもたらす恐れのある首都直下地震や南海トラフ地震などの巨大災害を見据え、社会の総力をあげていかに備え、被害軽減や早期の復旧・復興につなげていくべきか考えます。当シンポジウムはオンライン開催とし、YouTubeでライブ配信します。ぜひご視聴ください。

プログラム

あいさつ 13:00～13:05

基調講演Ⅰ 13:05～13:45



「首都直下地震と南海トラフ地震に備える
事前防災と事前復興」

なかばやし いつき
中林 一樹

東京都立大学・首都大学東京名誉教授/明治大学復興・危機管理研究所研究員

基調講演Ⅱ 13:45～14:25



「巨大地震・地球温暖化・人口減少に
どう備えるか」

よねだ まさこ
米田 雅子

防災学術連携体代表幹事/東京工業大学特任教授/日本学術会議会員

パネルディスカッション

14:35~16:20

「巨大災害に対する事前防災と復興のあり方」

コーディネーター



みくりや たかし
御厨 貴

東京大学名誉教授／ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長

パネリスト



ひらた きょうこ
平田 京子

日本女子大学家政学部
住居学科教授



こばやし しげる
小林 茂

前東京都危機管理監



いとう たけし
伊藤 毅

NPO法人事業継続推進
機構副理事長



ささき えいすけ
佐々木 英輔

朝日新聞社編集委員

総括

16:25~17:00



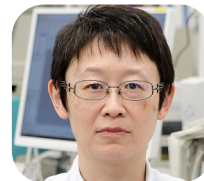
いおきべ まこと
五百旗頭 真

ひょうご震災記念21世紀研究機構
理事長／兵庫県立大学理事長



いむら ふみひこ
今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所
所長・教授



こばやし まい
小林 舞子

朝日新聞社東京科学医療部
次長（医療担当）

■お申し込み方法(期限：2月15日(火)まで)

下記ホームページからお申し込みください。

※お申し込みいただいた方には、後日視聴方法を事務局よりご連絡いたします。

※入力いただいた個人情報等は、事務局で適正に管理し、ご案内に関してのみ使用いたします。

申込URL：<https://www.hemri21.jp/>

お問い合わせ

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構
研究戦略センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
人と防災未来センター東館6F
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122
E-mail:gakujutsu@dri.ne.jp

主催：朝日新聞社、東北大学災害科学国際研究所、ひょうご震災記念21世紀研究機構

後援：内閣府政策統括官（防災担当）、復興庁、総務省消防庁、東京都、兵庫県、関西広域連合